

GUNMA PREFECTURAL OFFICE ART SITE

群馬県庁舎 アートサイト



2024.3/1(fri) - 3/24(sun)

OPEN 9:00 - 17:30

ADMISSION FREE

<https://g-artsite.com>

2024年3月1日(金) - 3月24日(日) 9:00 - 17:30

入場無料(県民駐車場は2時間まで無料)

群馬県庁舎にて現代アートの展示と販売

公式サイト <https://g-artsite.com>

群馬県の中心部に建つ群馬県庁舎は33階建て153.8mで県庁舎として日本一の高さを誇っています。32階の展望フロアからは赤城山・榛名山・妙義山の上毛三山や前橋の市街地を一望でき、多くの方々に是非訪れて欲しい場所です。この度、群馬県庁舎を舞台に、群馬県で活動するアーティストの展覧会が開催されます。群馬県といえば、言わずと知れた温泉の地であり、また、雄大な山々に囲まれた自然豊かな地でもあります。古くから現代に至るまで、多くの芸術家がこの温泉文化や自然の景観に魅了され、数々の作品が生み出されてきました。昨年、多様性や独自性の象徴であるアートを活用して、他にはない魅力を生み出すことを目的とした「群馬パーセントフォーアート」推進条例が制定され、群馬県が注目を集めています。群馬県の中心地からアートを発信していく「群馬県庁舎アートサイト」を是非お楽しみください。



半谷学
Manabu Hangai

人と自然の相互作用から生じた不要な物が持つ負のイメージを、美のイメージに再生する循環に焦点を当てて作品を制作しています。風力エネルギーでくるくるゆらゆらと動き、太陽光エネルギーで夜に発光する本作は、自然の恩恵に感謝し循環型社会を楽しむことの提案です。

- 2023 昨日の名残 明日の気配 札幌芸術の森美術館
- 2022 中之条ビエンナーレ 2022 (*2011年から参加)
- 2022 PAPER:紙と現代美術 熊本市現代美術館
- 2022 かかわ山なみ芸術祭 2022 綾川町 (*2016年から参加)
- 2021 体感展企画室 A4 展 都美セレクトショングループ展 東京都美術館
- 2020 半谷学展 さしがさの花ひらくころ 網走市立美術館
- 2019 グローバルノマディックアートプロジェクト・サクベ-白い道
- 2019 POST 3.11 本郷新記念札幌彫刻美術館
- 2019 半谷学展 花降り 苫小牧市美術館

- 2018 半谷学展 風の始まり ビエント アーツ ギャラリー
- 2017 ポンベツ芸術要塞 穂別野外博物館
- 2016 POST 3.11 原爆の図・丸木美術館
- 2015 半谷学展 アートの森で遊ぶこと 帯広市民ギャラリー
- 2014 六甲ミーツ・アート芸術散歩 2014
- 2013 半谷学展 負のイメージから美のイメージへ 渋川市美術館
- 2012 ファーストカット展 マンチェスター美術館
- 2011 ガレリア デコ 開廊30周年記念 三次元の介入展 (サンパウロ)
- 2011 韓紙+和紙 韓・日現代美術展 (シエマ美術館 韓国)
- 武蔵野美術大学大学院修了 美術修士

WEB <http://www.hangais.com/art.htm>
Instagram https://instagram.com/hangai_manabu
Facebook <https://facebook.com/hangai.art.works>



いくら まりえ
Marie Ikura

実家は幼稚園でした。記憶にある最初の作品は、その砂場で作った、お団子山でした。楽しくて楽しくて、無我夢中で作って、気づけば周りに誰もいなくなっても生ききっていた姿に今一番憧れています。自分はまだあの砂場に居て、今は無我夢中に絵を描きながら誰か遊びに来てくれるのを待っているのかもしれない

- 2023 中之条ビエンナーレ 2023
- 2023 「YAMANOTE LINE MUSEUM」JR 上野駅 壁画展示
- 2023 ザ・プリンスパークタワー東京 宿泊企画 客室窓アート
- 2022 TV 朝日ドラマ「ジャパニーズスタイル」セット内壁画制作
- 2022 鉄道150年 & 日比谷 OKUROJI2 周年記念ライブイベント
- 2022 ニューマン横浜「ワンダーカナガワ」窓アート制作
- 2020.2022.2023 成田空港クリスマス窓アート制作
- 2020 大阪高島屋夢袋(福袋)壁画制作

- 2020 丹波篠山まちなみアートフェスティバル参加
- 2020~2023 毎月1月 個展「絵の湯」特別協賛:スペースゼロ
- 2019 NHK エデュケーションal ラウンジ黒板アート
- 2019 WOWOW ドラマ「蝶の力学」放送記念ライブイベント
- 2018 東急百貨店・本店「双葉会」ライブイベント
- 2017 大丸・心齋橋店 300周年記念ライブイベント
- 2016 ユニクロ・ロシア新店舗オープン記念ライブイベント
- 2016 羽田空港フィリピン友好60周年ライブイベント
- 2015 ユニクロ・フィリピン新店舗オープン記念ライブイベント
- 2014 グループ展「Gen 現 Ngayon」NOVA Gallery
- 2010 多摩美術大学絵画学科油画専攻卒

WEB <https://lit.link/marieikura>
Instagram https://instagram.com/ikura_marie



浅野 暢晴
Nobuharu Asano

私が作る彫刻は「トリックスター」と呼ばれています。彼らは、人間が見ること、触れること、交流することが難しい異形の存在です。そんな彼らに実体を与え、彫刻としてこの世に現すことが、私の仕事だと思っています。群馬県庁のエントランスや庭園など、様々な場所に現れるトリックスターの少し不気味で、ちょっと可愛い姿をお楽しみください。

- 2023 旅するトリックスター 2019-2022 / 大久保分校スタートアップミュージアム
- 2023 中之条ビエンナーレ 2023 やませ (17、19、21年)
- 2022 BIWAKO ビエンナーレ 2022 / 旧寺本邸
- 2022 六甲ミーツ・アート芸術散歩 2022 / 六甲高山植物園
- 2021 トイジリ展 / 茨城県陶芸美術館
- 2021 体感 A4 展 / 東京都美術館
- 2020 現れると消えるところ / hasu no hana
- 2019 間の祭り / 常陸國總社宮

- 2019 旅するトリックスター / ビエントアーツギャラリー
- 2018 こだま芸術祭 / 100年の森
- 2014 無何有の祭り / 常陸國總社宮
- 2013 交感する身体 / グランシップ
- 2009 祝祭 / メタルアートミュージアム光の谷
- 2008 カフェ・イン・水戸 2008 / 水戸芸術館周辺
- 2004 第9回日本現代陶彫展 / セラテクノ土岐受賞歴
- 2022 六甲ミーツ・アート芸術散歩 2022 <オーディエンス大賞>
- 2013 グランシップアートコンペ 2013 <グランシップ賞>
- 2004 第9回日本現代陶彫展 <銀賞>
- 2004 筑波大学大学院修士課程芸術研究科美術専攻彫塑分野 修了

WEB <https://asanonobuharu.mongolian.jp>
X (旧 Twitter) @asanonobuharu

群馬県庁舎アートサイト

2024年3月1日(金) - 3月24日(日) 9:00 - 17:30

会場: 群馬県庁 〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

群馬県庁内展示場所: 群馬県議会庁舎前広場 / 本庁舎1F エントランスホール /

本庁舎1F 県民駐車場エントランスロビー / 本庁舎2F 県民ギャラリー /

本庁舎2F 県民駐車場屋上庭園 / 本庁舎32F tsulunos - ツルノス - スタジオ前カウンター



お問い合わせ 群馬県地域創生部文化振興課

Tel: 027-226-2592 / Fax: 027-243-7785

入場無料(県民駐車場は2時間まで無料)

公式サイト <https://g-artsite.com/>

主催 群馬県 / 共催 VIENTO ARTS GALLERY / 協力 中之条ビエンナーレ / ディレクター 山重徹夫



- ▶ JR 両毛線「前橋駅」下車、バス約6分 / 「新前橋駅」下車、バス約7分 / 「中央前橋駅」下車、バス約7分
- ▶ 関越自動車道「前橋IC」から国道17号経由で約10分

1 半谷 学 Manabu Hangai



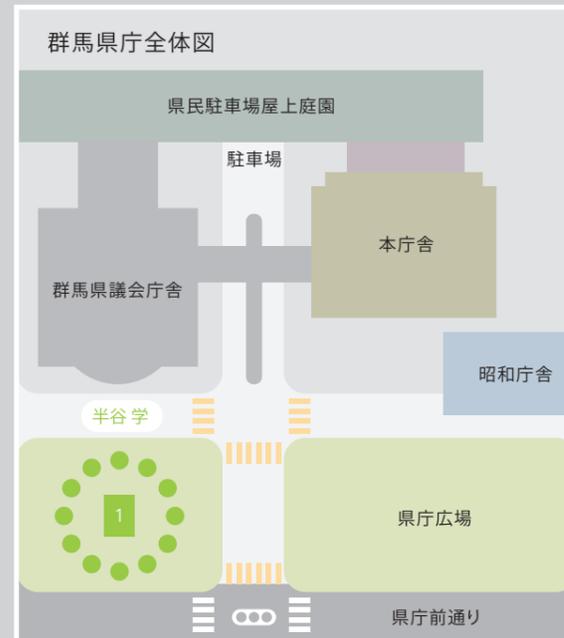
「Return of Wind Dragon 風の龍の帰還」

群馬県議会庁舎前広場に展示している作品は、言葉では伝わりにくい循環型社会という考察を、視覚によってわかりやすく伝えることを目標にした美術作品です。

3月の前橋市は、強風の日が多くありますが晴天の日も多くあって、自然の再生可能エネルギーが豊富な時期です。枯渇する化石燃料に頼り過ぎずに、現在の自然の恩恵を受けながら暮らしを楽しむことは、これからの社会が求める大切な循環の一つではないでしょうか。

また県庁舎2階の県民ギャラリーでは室内作品として制作を続けている平面状の作品を展示しています。こちらは社会の営みから排出される不要物や大量廃棄物などをリサーチし、そこから得られる原材料を独自の「紙料」に再生して美術作品を制作する試みです。リサイクルしやすい紙を扱いながら社会や環境について目を向けるきっかけを提示し、柔軟な発想や新たな可能性を求めて「紙料」を循環させることをテーマにした提案です。作品の原材料にも目を向けて頂けたら幸いです。

▼ 群馬県議会庁舎前広場



作品鑑賞の注意事項

- 🚫 作品や壁などに触れないでください。
- 👤 作品破損やケガ防止の為、お子様とは手をつなぎましょう。
- 📷 三脚や自撮り棒の使用、フラッシュ撮影は禁止です。
- 🕒 日没以降は暗くなるため作品鑑賞はお控えください。

作品のご予約購入の方法

公式ウェブサイトから一部の作品を除き、予約販売が可能です。展覧会終了後に順次発送となりますので、お気に入りの作品を見つけて、是非アートを生活の一部にしてみてください。



公式サイト <https://g-artsite.com>

※ 作品写真は本展覧会の作品ではなく、過去作品の写真イメージになります。

2 いくら まりえ Marie Ikura



「BOUND バウンド」

県庁、県庁…。今までも「こんなところに描いていいのっ?」と、飛び上がるほど嬉しくなる場所に描かせて頂きましたが、県庁。飛び上がるほど緊張します。

私事ですが、これを書いている今、家にももって修行のように絵を描くお仕事をしています。ほとんど外に出ない日が続き、椅子とお尻の境が分からなくなってきた11日目。これが終われば、県庁。修行から解き放たれ、大きな窓を前にしたら。両手足についた錘が地面にどすとどと落ちるように、お尻から椅子を取り除く時が来たら。きっと飛び上がるほどやる気に満ち満ち溢れることでしょう。

そういえば、先日お伺いした時強い風が吹いていて驚きました。これが噂の赤城おろし。飛び上がった拍子に、体を持っていかれ連れ去られないよう気をつけなければいけません。あの風の理由はなんでしょう。春を誘っているのでしょうか。壮大な手招きです。冬の始まりからだと聞きましたが、そうすると少し長すぎやしませんか。

あんまりしつこいと、振り向いてもらえませんよ。

そんな生意気なアドバイスしたら、赤城山のひと吹きで追い返されそうです。

描く日を想像しながら浮いては消えるこんな物思いは、はたして当日まで残っているのでしょうか。Bound, Bound…。想像力には限界がないそうです。

3 浅野 暢晴 Nobuharu Asano



「迎える異形 / 異形の庭園」

私が作る彫刻は「トリックスター」と呼ばれています。彼らは、人間が見ること、触れること、交流することが難しい異形の存在です。そんな彼らに実体を与え、彫刻としてこの世に現すことが私の仕事だと思っています。トリックスターの特徴は、陶で作られ、足が三本あり、黒色であることです。

県庁のエントランスには、様々な場所に座るトリックスターが現れます。彼らが県庁を訪れた人々をお迎えし、県庁を訪れる人間たちの姿を少し不思議そうに見守っています。

2階の庭園にもトリックスターが現れます。身体に植物を植えられた「植木鉢ックスター」や、正座をしている「正座ックスター」など、垣根に囲まれた空間ひとつ一つに、個性豊かな異形が現れ、庭園を「異形の庭園」へと変貌させます。

また、32階 tsulunos 前には、山の姿をした「山ックスター」が現れ、県庁の窓から見える群馬の山々を眺めています。群馬県庁に現れた少し不思議で、ちょっと可愛い異形たちの姿をお楽しみ下さい。

▼ 本庁舎2F県民駐車場 屋上庭園



▼ 本庁舎1F県民駐車場エントランスロビー



▲ 本庁舎2F県民ギャラリー



▲ 本庁舎32F tsulunos ツルノス スタジオ前カウンター

